

ファーマーズ・フォレスト

地域産品の相互流通強化

宇都宮核、沖縄に新拠点

沖縄県うるま市に支店を置く地域産品ファーマーズ・フォレスト(宇都宮市新里町、松本謙社長)は、宇都宮市やうるま市など複数の拠点間の流通機能を強化する。宇都宮市の物流拠点をハブ化し、うるま市のほか、同市と友好都市の盛岡市、同社が支店設置を予定する茨城県の産品を集め、効率的な物流を進める計画だ。

岩手とも連携
茨城に支店も

地元産品の価値を見いだして地元外に発信する地域産品として、同社は「大消費地と地方を結び付けてきたが、今後は関係する地域を結び付け、地方間で各産品を行き交わしたいと考えて」。

同社はうるま市で、地元

1320平方メートル、農水産物

加工所を備える。うるま市との縁で盛岡市とも関係が生まれ、同市内で地域産品をつくる動きが

(伊藤一之)

ファーマーズ・フォレストの
地域産品相互流通

出しており、同社が支援する。茨城県では、指定管理者になっている阿見町の道の駅が開業する予定の2020年度を機に支店を開設する。同町を含め茨城県産品の取り扱いを広げる。拠点間の産品を行き交わせるため、同社は今夏、道の駅うつのみやろまんちっく村(宇都宮市)で、うるま市産品販売の「うるま市フェア」を開催し、常設コーナーも設け、同市産品を販売している。同市の新施設では宇都宮市など本県産品も出品し、相互流通をさらに推進する。